

開催日：平成 28 年 7 月 2 日（土）

平成 28 年度同窓会総会 新会長当日ご挨拶をご紹介します。

## 総会時の新会長挨拶

ただいま、新会長に選任されました吉田でございます宜しくお願ひもうしあげます。

冒頭、若干の自己紹介をさせていただきます。私は、昭和 46 年、1971 年卒業の 19 回生でございます。ゼミは岡ゼミでクラブ活動としては商業英語研究会 BEC に所属しておりました。大学卒業後は日本バイリーンという不織布のメーカーに就職し、この道一筋 45 年つとめ、今年の 4 月に社長を退任し現在は会長に就任しております。



一昨年には大学の土曜講座で不織布の話をして頂きましたので、一部の方はお聞きくださったかと思ひます。

生まれ育ちは東京文京区で大学時代は文京区から通っておりました。結婚後は練馬区に居を構え、現在は桜台に住んでおります。大学までは、徒歩でこられる距離であり、同窓会活動でも交通費がかからないなど低コスト人材として極めて便利な環境にあります。趣味は囲碁、温泉旅行で又酒好きでもありほぼ毎日たしなんでおります。

自己紹介はこの程度にして、新会長就任に際して思うことをお話ししたいと思います。同窓会活動については、先ほどらい井上前会長ならびに坂田事務局長からる説明がありましたように大変に活発に諸活動を行ってきており、その成果は着々と上がってきていると思ひます。それは、本日参加されている方々を含めた卒業生の皆さんと在校生、大学とが協力しあい、まさに同窓会の基本方針として掲げている三位一体の活動の成果であるといえます。これには、井上前会長をはじめ歴代の会長をつとめられた方々の強力なリーダーシップのもと本部役員の方々の真摯で熱心な活動とそれに呼応するように地方支部をふくめた卒業生の方々のご協力の賜物と思ひます。

但し、課題もございます。それは、私自身も同窓会の役員になる前まではそうでありましたが同窓会活動に対し無関心な卒業生がたくさんいるということです。これは、先ほどの活動報告にもありましたように年会費の納入率の低さにあらわれており、特に若い方々にその傾向が強くなっております。同窓会活動に参加して気付くことですが、同窓生は大変に幅広い分野で活躍されており、こうした人脈・情報は一人ひとりの社会生活に大いに役立つことであります。それには、きっかけ作りが重要になってきます。ひとりではなかなか同窓会活動に参加しづらいし、又情報すらつかんでいない方々が多いというのが実態かと思ひます。それを打開していくのは、本日ご出席いただいている皆様をはじめ、同窓会活動に様々な形で関与していただいている方々のご協力なしにはできません。一人ひとりが自らの輪を広げるように努力していくこと、そうした一つ一つの積み重ねが組織強化の要ですのでご理解・ご協力のほど宜しくお願ひいたします。

本日より、新しい執行部体制で取り組んでまいります。井上前会長のもとで勸めて来た様々な施策を今後も継続してまいります。私も新会長として約 46,000 人にも及ぶ同窓会の活動に精一杯努力してまいりますので、ご支援・ご協力のほど重ねてお願ひ申し上げ私の就任のご挨拶とさせていただきます。